

# デッキプレート面積の計算方法を知りたい！

デッキプレートの種類によって異なります。

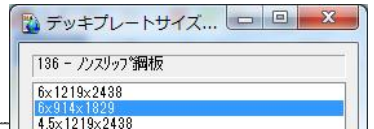
デッキプレートのサイズが板厚×縦×横のマスターの場合・・・延べ面積 を表示します。

例) 材種 CD 136-ノンスリップ鋼板

集計表

工事番号: デモデータ1 工事名称: デモデータ1  
階: GL~PHR 節: 1節~2節 工区: 全工区 分類: 全分類 グループ: 全グループ

| No | 材質    | 寸法                   | 長さ(mm)  | 台数 | 表面積(m <sup>2</sup> ) | 重量(kg)  | 部位名     |
|----|-------|----------------------|---------|----|----------------------|---------|---------|
| 1  | SS400 | ノンスリップ PL-6x914x1829 | 9,333.3 |    | 249.6                | 5,883.7 | デッキプレート |

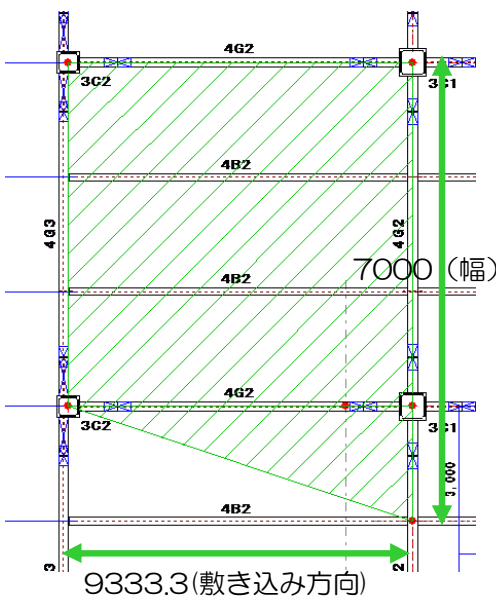


デッキプレート台数は、デッキ範囲の幅÷デッキプレート 1 枚あたりの幅 で求めます。

表面積は、単位表面積×長さ×台数 で求めます。

デッキ範囲の幅 7000 ÷ デッキプレート 1 枚あたりの幅 914 = 7.658・・・→ 8 台

単位表面積 3.3434 × 敷き込み方向 長さ 9333.3 × 台数 8 = 249639.6÷1000 = 249.6



**延べ面積は、**  
デッキプレートの波型をフラットにした状態です。

**単位表面積は**  
共通部材マスター - 部材マスターで確認できます。

**敷き込み方向はデッキプレート入力時に設定します。**

1-横 (基準線に対して 0度) 2-縦 (基準線に対して 90度)

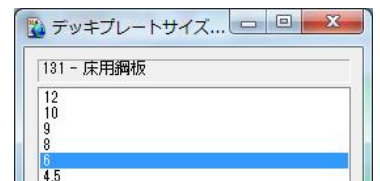
デッキプレートのサイズが板厚のマスターの場合・・・実面積 を表示します。

例) 材種 CD 131-床用鋼板

集計表

工事番号: デモデータ1 工事名称: デモデータ1  
階: GL~PHR 節: 1節~2節 工区: 全工区 分類: 全分類 グループ: 全グループ

| No | 材質    | 寸法                 | 長さ(mm) | 台数 | 表面積(m <sup>2</sup> ) | 重量(kg) | 部位名     |
|----|-------|--------------------|--------|----|----------------------|--------|---------|
| 1  | SS400 | CHPL-6x7000x9333.3 |        | 1  | 57.2                 | 2,788  | デッキプレート |



デッキプレート配置時に囲んだ領域の実面積 57.2 m<sup>2</sup> を表示します。

実面積は、【二次部材】 - 【デッキプレート】 - 【デッキプレート面積】 で確認ができます。

| 階   | 部材名 | サイズ    | デッキプレート面積(m <sup>2</sup> ) | デッキプレート範囲数 |
|-----|-----|--------|----------------------------|------------|
| 4FL | DP  | CHPL-6 | 57.167                     | 1          |